

三次看護専門学校 授業要項

科 目		統計学			担当講師名		韓 虎剛	
学科名		学年	クラス	単位 (時間数)	実 施 時 期			
第一看護学科		2	AB	1 (30)	令和8年 4 月17日～令和8年9月25日			
科目目標・単元目標 統計学の基礎知識を学び、データに関する統計的見方、考え方、処理の仕方を理解し、実際の計算ができること。								
授業概要 ①統計学の基本概念、例えば、平均、分散、相関、分布、とりわけ確率分布の理解と関連計算；②離散・連続確率変数関連の確率計算ができること；③統計的推定・検定の概念の理解、関連計算ができること。								
	月日	時間数	内 容		回数	月日	時間数	内 容
1		2	ガイダンス、 ネイピア数、 和記号の計算		11		2	正規分布関連計算
2		2	集合とその演算、事象、標 本空間、確率、確率変数、集 団と標本との関係		12		2	確率点とその計算
3		2	平均、モード、中央値、 分散、標準偏差とその計算		13		2	区間推定とその計算
4		2	データの標準化、偏差値、 共分散、相関係数		14		2	検定とその計算
5		2	計算演習		15		2	総括と演習
6		2	確率関数、 (累積)分布関数、期待 値、(確率変数)分散、 (確率変数)標準偏差					試験
7		2	離散確率変数 ベルヌイ確率変数 二項確率変数とその関連計 算		テキスト・参考書 ・基礎演習 統計学 新世社			
8		2	ポアソン確率変数とその関 連計算					
9		2	連続確率変数 一様分布、指数分布 正規分布確率確率変数		成績評価の方法 ☒ 筆記試験 ☐ レポート試験			
10		2	標準正規分布 正規分布の標準化					

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		物理学			担当講師名		両角 卓也	
学科名		学年	クラス	単位 (時間数)	実 施 時 期			
第一看護学科		1	A・B	1（30）	令和8年度前期			
科目目標・単元目標 物理的現象に関する基本的な概念や原理, 法則を系統的に学び, 看護場面や身近な生活における現象を物理学的に理解する力を養成する。								
回数	月 日	時間数	内 容		回数	月 日	時間数	内 容
1	5月7日	2	物理学とは何か 測定と誤差 有効数字		11	7月23日	2	電気, 電流, 回路, 伝導体, 誘電体
2	5月14日	2	単位と物理量について 単位系について 単位の変換 国際単位系 次元解析		12	8月27日	2	磁場, 電流と磁場, 電磁誘導, 電磁波, 電 磁波の放射と電子の安定性の不思議→ 前期量子論, 放射線の導入 光 光学 レンズ, 目の機構, 光学医療機 器, 電磁波から特殊相対論へ
3	5月21日	2	ベクトルとは何か ベクトルの表現 ベクトルの加減法, 分解 力の合力とつり合い		13	9月3日	2	量子論概説, 前期量子論, 特殊相対論的 書き換え, 放射線, 重粒子線治療, 陽子 線治療:特殊相対論, 時間と空間の統 一, 核エネルギーの利用, 原爆 PET（陽電子放出断層撮影）, CT
4	5月28日	2	力とは何か 慣性, 作用反作用 運動の三法則, 運動方程式, 見かけの力		14	9月10日	2	重力と一般相対論, 宇宙論, 状態の 重ねあわせの原理, シュレディン ガー方程式, 猫と量子コンピュ ータ, 量子重力と弦理論, 物理学の今 後の展望
5	6月4日	2	物理学と微分 微分と速度, 運動量 自由落下 運動量 運動量保存則		15	9月17日	2	まとめとテスト対策
6	6月11日		剛体, 重心 回転運動 てこの原理 回転運動の応用					
7	6月25日		仕事, エネルギー 運動エネルギー 位置エネルギー エネルギー保存則		テキスト・参考書			
8	7月2日		流体とは ベルヌーイの定理 圧力と浮力 揚力, マグナス効果, サイフォンの原理, カオス		平田雅子：完全版 ベッドサイドを科学する -看護に生かす物理学-			
9	7月9日		熱力学		成績評価の方法 ☒ 筆記試験 ☐ レポート試験 ☐ 実技試験			
10	7月16日		円運動, 周期運動, 振動, 強制振動, 共鳴波, $v=f\lambda$, 重ね合わせの原理, 縦波 横波, 進行 波, 定常波, 反射, 屈折, 干渉, 回折, ドップ ラー効果（音光） 音と光の生態認識, 超音波治療					

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間外です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目	情報科学			担当講師名	日浦 悦正
学 科 名	学年	クラス	単位・時間数	開 始 時 期	
第一看護学科	1	AB	1単位・30時間	令和8年度 前期	
科目目標・単元目標 「情報」や「情報化社会」に関する基礎的な知識を学び、それを踏まえて、マイクロソフトオフィスを用いての文書作成、表計算、プレゼンテーションなど情報スキルをアップし、情報リテラシーの向上を図ります。					
授業概要 「情報」を取り扱うために必要なコンピュタリテラシーとセキュリティに関する知識を学んだ上で、パソコンによる文書作成や表計算、資料作成、プレゼンテーションの知識およびスキル等の情報リテラシーを主に実習によって習得する。					
授 業 内 容	回数			回数	
	1	情報の定義と特徴 A 情報とは B 情報の特性		11	Excelでの表計算と関数
	2	情報の定義と特徴 C 情報の認知と意思決定 D 情報の伝達とコミュニケーション		12	Excelでのグラフ作成、その他便利な機能
	3	社会と情報 A 情報化社会の成立と発展 B 情報化社会で求められること		13	PowerPointの基本操作
	4	情報倫理と医療倫理 A 情報倫理 B 知的財産権とプライバシーの尊重		14	Word、Excel、PowerPointの連携手法
	5	コンピューターリテラシーとセキュリティ A コンピュータに関する基礎知識 B インターネットに関する基礎知識		15	Word、Excel、PowerPointの連携手法
	6	既存の情報の収集方法 A 文献検索 B インターネット上で役だつ情報へのアクセス 保健医療と情報 A 医療における情報 B エビデンスの基づいた保健医療		16	最終レポート提出（好き上手マトリックス、SWOT分析）
	7	Windowsの基本操作とWordによる文書作成		テキスト・参考書 ・看護情報学 第2版	
	8	Wordでの文字書式とオブジェクト挿入			
	9	Wordでの図形処理と表の挿入		成績評価の方法 ☐ 筆記試験	
10	Excelの基本操作		☒ レポート試験 ☒ 実技試験		

※1回は90分（2時間）です。

※試験は時間に含めません。

三次看護専門学校 授業要項

科目	論理的思考			担当講師名	谷川 充美
学科名	学年	クラス	時間数	授業の種類	実施時期
第一看護学科	1	A・B	1 (30)	講義・演習	令和8年度後期
科目目標・単元目標 ①論理的な思考を養う。②適切な言語表現を身につける。③自分の思考を「文章」で表現する力を養う。					
授業概要 本授業では、「論理的思考」とは何かを概観した上で、映画や漫画やドキュメンタリーなどの様々な教材を用いて、実践的に論理的な思考力を養っていく。そして、そうした実践を通して深めた思考を「文章」という形で適切に表現する力を身につけるために、文章の基礎や小論文の書き方について学習する。					
回数	時間数	内 容	回数	時間数	内 容
1	2	ガイダンス 「論理的思考」とは何か	11	2	「情報」から考える
2	2	「論理・論証」について	12	2	「フィクション」から考える
3	2	「思考法」について	13	2	「漫画」から考える
4	2	「言葉」について考える①	14	2	「論文」から考える
5	2	「言葉」について考える②	15	2	まとめ
6	2	「文章」の基礎①			筆記テスト
7	2	「文章」の基礎②	テキスト・参考書 【参考書】 ・今井むつみ「ことばと思考」岩波書店、2010 ・(株)アンド「思考法図鑑」翔泳社、2019 ・戸田山和久「科学哲学の冒険」NHKブックス、2005 ・吉田裕子「看護師のための語彙力・対話力」日本医療企画		
8	2	「小論文」の書き方①			
9	2	「小論文」の書き方②	成績評価の方法 ■ 筆記試験 ☐ レポート試験 ☐ 実技試験		
10	2	「ドキュメンタリー」から考える			

※1回は90分（2時間）です。

三次看護専門学校 授業要項

科 目		プロジェクトマネジメント			担当講師名		曾余田 順子		
学科名		学年	クラス	時間数	実 施 時 期				
第一看護学科		1 年	A・B	30	令和8年5月7日～令和8年9月17日				
【科目目標・単元目標】 「よき看護師をめざす仲間とともに、科学的思考としての問題解決に協働的に取り組むあり方を“学び(学習)”として”探究・追究する”(体験目標)ことによって、「よき学習の協働が、問題解決の態度をつくる」ことをねらっていく(方向目標)。その営みによって、今後の自分たちの学習、ひいては仕事の起点・基点となり得る「問題解決をマネジメントする『学習を協働する論理』」を見出すことをめざす(到達目標)。									
【授業概要】 「プロジェクト」は何らかの目標を達成するための活動を、「マネジメント」は目的の実現を目指して目標を見定めて様々な人・もの・ことを組織し動かしていく営みを意味します。つまり、「プロジェクトマネジメント」は、目的を実現していく「仕事の仕方」の基礎・基本を学ぶ授業です。「仕事」とは、他者と関わり合いながら、かつ、「他者との学び合いのなかで」行われる協働的な問題解決のプロセスの連続だからです。したがって、「いかに他者と学習を協働していくか」が、「仕事の仕方」として重要になります。それゆえ、本授業では、「よき学習の協働が、問題解決の態度をつくる」をコンセプトとして据えて、問題解決を学習のあり方として探究・追求しながら、問題解決を協働していく人・もの・ことの見方・考え方を実践的に学びます。									
回数	月 日	時間数	内 容		回数	月 日	時間数	内 容	
1	5 7	2	Ⅰあなたは「問題解決」にどう向き合うのか? ・「はじめに」～授業への誘い ・「問題解決」の筋道		11	7 23	22	Ⅲあなたは「よき協働」をいかなる「学習」で生み出すのか? ・〈第二のワーク〉構想するPlan(3) ・「よき協働」を生み出す学習のあり方②	
2	5 14	4	Ⅰあなたは「問題解決」にどう向き合うのか? ・「問題解決」の筋道と科学的管理法 ・〈第一のワーク〉		12	8 27	24	Ⅲあなたは「よき協働」をいかなる「学習」で生み出すのか? ・〈第二のワーク〉構想するPlan(4) ・「よき協働」を生み出す学習のあり方③	
3	5 21	6	Ⅰあなたは「問題解決」にどう向き合うのか? ・テイラーの科学的管理法の考え方 ・〈第一のワーク〉		13	9 3	26	Ⅲあなたは「よき協働」をいかなる「学習」で生み出すのか? ・〈第二のワーク〉構想の実践Do ・「よき協働」を生み出す学習のあり方④	
4	5 28	8	Ⅰあなたは「問題解決」にどう向き合うのか? ・科学的管理法と仕事の近代化の問題 ・〈第一のワーク〉		14	9 10	28	Ⅲあなたは「よき協働」をいかなる「学習」で生み出すのか? ・〈第二のワーク〉構想の間直し(C-A) ・「よき協働」を生み出す学習のあり方⑤	
5	6 4	10	Ⅱあなたは何をどうめざして「問題解決」を協働するのか? ・「問題解決」と「マネジメント」 ・〈第一のワーク〉から〈第二のワーク〉へ		15	9 17	30	〈終わりにかえて〉 ・「よき学習の協働が、問題解決の態度をつくる」で振り返り、プロジェクトマネジメントの学びをこれからに繋げよう!	
6	6 11	12	Ⅱあなたは何をどうめざして「問題解決」を協働するのか? ・ドラッカーのマネジメントの考え方 ・〈第一のワーク〉から〈第二のワーク〉へ						
7	6 25	14	Ⅱあなたは何をどうめざして「問題解決」を協働するのか? ・「ミッション」とは何か ・〈第二のワーク〉		テキスト・参考書 『Project Management～よき学習の協働が、問題解決の態度をつくる』 (必要に応じて資料配付)				
8	7 2	16	Ⅲあなたは「よき協働」をいかなる「学習」で生み出すのか? ・「ミッション」はどう見出されるのか ・〈第二のワーク〉						
9	7 9	18	Ⅲあなたは「よき協働」をいかなる「学習」で生み出すのか? ・マネジメントの前提となる人間観 ・〈第二のワーク〉構想するPlan(1)		成績評価の方法 ☐ 筆記試験 ☒ レポート試験 ☐ 実技試験				
10	7 16	20	Ⅲあなたは「よき協働」をいかなる「学習」で生み出すのか? ・〈第二のワーク〉構想するPlan(2) ・「よき協働」を生み出す学習のあり方①		認定レポート受理の条件は、 毎時間及び夏季休業中の課題を 全て提出していることとする。				

※1回は90分(2時間)です。

※試験は時間外です。